

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出支援において、ご本人様のADL等の状況によることなく外出機会を設けられるよう取り組みは行うが、特定の方に外出が偏る傾向が見られた。	身体状況に寄ることなく、入居者の皆様方どなたでも、ご本人様のお気持ちを把握、優先し、気分転換や季節感を肌で感じて頂ける機会をさらに増やし、生活の質を高めていけるよう取り組みを行う。	介護職員を中心に、ご家族様、地域の方々にも協力を頂きながら、生活という視点をさらに見直し、いつでもご希望に応じた対応が出来るよう取り組める工夫を図る。	6ヶ月
2	26	介護計画の作成は適切に行っているものの、実践という点において、統一が成されていない面も見受けられる。支援項目等も精査し、今、本当に必要な支援に項目を絞る必要性もある。	介護職員が、入居者の皆様方の個々の計画内容、援助内容の周知を図れるよう、日々の気づきを大切にしながら、どの職員もその場に応じた対応が行えるよう取り組む事とする。	援助項目において重点項目に絞り援助内容・方法の統一を行い、モニタリングの方法・記録も記入用紙を新たに取る。	6ヶ月
3	45	現在、平均して週2回の入浴となっており、概ね決まった時間での入浴形態となっている。また、入浴の際、工夫を凝らした入浴(湯)の検討を行い、より良い機会となるようにする。	ご本人の希望を聞きながら、入浴回数や入浴方法を検討し、より良い、楽しみの持てる時間となるよう取り組む。	入浴を行うにあたっての効能や、昔からの風習等も考慮し、しょうぶ湯、ゆず湯、バラ湯などのバリエーションも増やし、個別の支援を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。